

【提案項目】

34 水災害リスクを踏まえた流域治水対策の推進について

【提案要旨】各水系毎の災害常襲区域における流域治水対策

■ 提案事項

○ 各水系毎の災害常襲区域における氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策を図ること

近年、地球温暖化等により気象災害が激甚・頻発化するなか、市街化調整区域においても宅地化が進行しており、内外水氾濫等により災害常襲区域の浸水被害が拡大している。

浸水被害の防止・軽減を図るため、「流域治水プロジェクト」に基づく総合的・多層的な治水対策を強力に推進する必要がある。このことから、緊急自然災害防止対策事業債及び緊急浚渫推進事業債の期間延長や、さらなる財政支援などの新規制度の創設、黒瀬川水系をはじめとした市域における各水系において特定都市河川浸水被害対策法の活用も含めた取組みを県・市流域治水協働チームの編成により流域一体で進める。

【提案先：総務省・国土交通省・広島県】

34 水災害リスクを踏まえた流域治水対策の推進について

東広島市の現状と課題・取組状況

- 地球温暖化に伴う異常気象により、災害常襲区域は内外水氾濫により浸水被害が激甚・頻発化している。
- 広島県と連携して各水系毎の流域治水プロジェクトの策定、「東広島市域における総合的な治水対策協議会」を設置し、浸水被害を軽減するための治水対策の検討を進めている。
- 浸水被害の防止・軽減を図るため、「流域治水プロジェクト」に基づく普通河川の改修、雨水貯留施設整備、ため池の活用、防災まちづくり等の総合的・多層的な治水対策を強力に推進する。そのために必要な財政支援等の新規制度の創設を必要とする。
- 黒瀬川水系における特定都市河川浸水被害対策法の活用等による取り組みを県・市流域治水協働チームの編成により流域一体で進める。

降雨と浸水被害の関係(H22～H30)

年度	総雨量 (mm)	床上・床下 浸水 (件)
H22(2010)	71.0	199
H23(2011)	56.5	3
H24(2012)	69.5	7
H25(2013)	193.5	13
H26(2014)	134.0	74
H27(2015)	70.5	4
H28(2016)	213.5	85
H29(2017)	—	0
H30(2018)	521.0	1,146

平成30年7月豪雨による
浸水箇所位置

● : 浸水箇所
— : 2級河川

